



還暦を機に昭和の頃

うちだ内科医院

内 田 守 昭

還暦を機に昭和の子供時代を思い出してみました。

自由に使えるお金は乏しく、今のように物も情報も無かったあの頃は、街に出て映画を見たり、遊園地で遊ぶといった、今では当たり前の娯楽には手が届かず、在郷の子供にはお祭りが極上の楽しみでした。

お化け屋敷が来て3日続く新発田祭りの興奮は言うまでもなく、その他近隣の小さななか神社で季節毎に開かれるお祭りの露店を目掛け自転車で駆け回っていました。夜店では、赤茶けた裸電球に照らし出されて、プラモデル、ヤドカリ・ミドリガメ、おもちゃ達は妖しい魅力をまき散らし、親に止められても我慢できなくなって、なけなしの小遣いを浪費させられたものです。

新築祝いの餅まきにもあちこち出かけました。他の集落に出張すると「他所者が来ると分け前が減る」と言われて地元の子に疎まれ、意地悪されることがよくありました（意気地がなかったのでやられっぱなしでした）。

春から秋までは集落の保育園でゴムまりを使った三角ベースに夢中になっていました。通称“よーち園球場”で人数が足りない時には“壘上に透明ランナー”、年少の子は“4ストライクでアウト”等のローカルルールを皆で考え出して時には喧嘩しながら遊びました。

夏はカブトムシ（ゲンジと呼ばれていた）やクワガタを採るのに夜は街燈の下、朝は河原の柳の木を巡回しました。屋外の飼育ケースに空いた穴から雨水が入って折角採ったカブトムシが全滅してしまい大泣きしたことも思い出します。夏休み中は近くの川で泳ぐのが日課でした。安全確保のため近所の大人が監視員をしていてくれました。

アユやカジカ、時にはマスがテトラポッドの陰に見えて、大きくなったら獲ってみたいとずっと思っていました。

秋には近くの川や沼で悪童仲間とフナ釣りやザリガニ採り。大物がとれると大喜びして得意になっていました。

冬は除雪で出来た雪の山でミニスキー。時には30分ほど歩いて里山に上り、しもやけになって長靴に入った雪で中がビショビショになるのも構わずソリに夢中になりました。

読書と称して床屋の友達の家で、お古のマンガを読み耽ったのは小学4年生の時でした。王道の手塚治虫やお色気の永井豪などの他、覚えているのは少年ジャンプの「ドリーム仮面」、「アウターレック」、お下劣な「トイレット博士」、「ど根性ガエル」。野球少年だったので定番の「ドカベン」や「野球狂の詩」の他、「アストロ球団」や「侍ジャイアンツ」等も夢中で読みました。

テレビ番組も昭和ならではの、馬場・猪木が主役のプロレスや長嶋・王が健在の頃のプロ野球はゴールデンタイムに放送されていましたっけ。

当時は子供が多く塾通いも一般的ではなかったせいか、子供向けのテレビ番組も数多くありました。

平日夕方はアニメ。「ドラえもん」、「妖怪人間ベム」、「サスケ」、「タイガーマスク」、「魔法使いサリー」、「ゲゲゲの鬼太郎」、「マジンガーZ」等々。「アパッチ野球軍」、「紅三四郎」等も覚えています。当時、コンプライアンスなんてものは皆無で今では放送出来ない番組、例えば人種差別が疑われる「ジャングル黒べえ」というのがあったりしました。

土曜日夜は「まんが日本昔ばなし」の後、大橋

巨泉の「クイズダービー」、ドリフターズの「8時だヨ！全員集合」を見てさっと風呂に入り、大人向けの「キーハンター」のオープニングを見届けてから寝ていました。

特撮物では今でもメジャーな「ウルトラマン」の他、日曜朝、子供には無用の「時事放談」、「皇室アルバム」と来た後の「仮面ライダー」（そのあと「わんぱくフリッパー」、「兼高かおる世界の旅」と来て、牧伸二の「大正テレビ寄席」もあったな）。またゴレンジャーに代表される戦隊物の他、マイナーな「シルバー仮面」、「アイアンキング」、「変身忍者嵐」、「キカイダー」、「バロムワン」、「魔人ミツルギ」とかいう人形仕立ての物もありました。そうそう人形劇といえばNHKの「八犬伝」もありました。

昭和歌謡全盛の時代（子供なので演歌には興味なし）、尾崎紀世彦、山本リンダ、天地真理、アグネス・チャン、沢田研二＝ジュリー、西城秀樹らが歌番組を席卷していました。

樹木希林が演じるジュリー婆ちゃんが一世を風靡した「寺内貫太郎一家」や「ムー一族」といったドラマもテレビを盛り上げていたと記憶してい

ます。

子供時代、それなりにいじめも経験しましたが、大過なく過ごせたのは昭和の空気感というか、良い意味での“ゆるさ”のお蔭もあった様に思います。懐古趣味のきらいはありますが昭和も悪いことばかりでは無かったんじゃないかなあ…。

自身がコーガンの微少年だった頃を回想し薄毛の進んだ頭の中心は今も中学生のままだと確認することとなり苦笑している次第です。

原稿用紙1枚にまとめるつもりが、興が乗ってしまい予想外の長文になってしまいました。途中観念奔逸に陥り、とりとめが無くなりお恥ずかしいばかりです。馬齢を重ねた還暦オヤジの駄文で皆様のお目汚ししてしまい済みません。

以上、かように緩く昭和を過ごして還暦に至りました。医師会の諸先生方、今年もよろしくご指導をお願い申し上げます。

この先は願わくば健康年齢を重ね、出来れば「ピンピンころり」と逝けたら幸せだなと漠然と思っています。そのためには寒くて怠けている散歩の再開が目下の課題です。

（新発田北蒲原医師会報 令和8年3月号より）



春休みのある日、路上で遊ぶ近所の子供達。
あの頃は道路も遊び場にしていました。